

普通科2年生（文系）



科学英語講演（サイエンスダイアログ）を実施しました！

2月12日（木）、普通科2年生（文系）を対象に、「サイエンスダイアログ（科学英語講演）」を開催しました。サイエンスダイアログは、日本学術振興会のフェローシップ制度により世界各国から来日し日本の研究機関で研究を行っている若手外国人研究者を講師として高等学校等に派遣し、自身の研究や出身国に関する講義を英語で行うプログラムです。今回は、トルコ出身の Yusuf Ziya Karabicak 先生（大阪公立大学大学院文学研究科所属）を講師としてお招きし、「Discovering the World Through History: A Journey from Turkey to Japan」という演題でご講演いただきました。講演の前半では、トルコの食文化や史跡、これまでのご自身のキャリアについて紹介があり、後半では研究分野であるオスマン帝国時代の「ギリシャ革命」について解説されていました。生徒たちは、休憩時間や講演後にオスマン帝国の歴史やトルコの文化について積極的に質問していました。講演後の感想では、「ギリシャ革命やオスマン帝国について全然知らないことだらけだったけれどめっちゃ説明が分かりやすかった。」「世界の歴史についてただ単に聞くだけでなく、英語×現地の人と関連づけて考えることができて良かった。」と感想を述べていました。



環境科学科1年生



科学英語講演（サイエンスダイアログ）を実施しました！

2月13日（金）、環境科学科1年生を対象に、「サイエンスダイアログ（科学英語講演）」を開催しました。三重大学大学院生物資源学研究科の Kevin DJOTAN 先生が、「The beautiful fungi that help plants（植物を助ける美しい菌類）」というテーマでご講演いただきました。講演の前半では、Kevin 先生の出身国であるベナンの文化や代表的な場所、科学者になった理由についてお話してくださいました。後半では、研究されている菌の基礎、その可能性について教えていただきました。休憩時間には、積極的に質問しに行く生徒や、先生が持ってきてくださった菌類の本を読む生徒が多くいました。以下、生徒の感想です。「外国の人と交流することは刺激になるし、お互いの国のことを理解する大切さも学べた。」「研究内容は難しいところもあったけれど、微生物や海外に興味をもつきっかけになった。」「今まで研究者がどんなことをしているのかわからなかったけれど、まだ明らかになっていないことを社会のために探っているのだと今回知った。」

